

地域密着型金融の取り組み状況

(平成23年4月～24年3月)



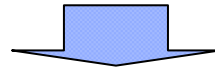
大阪市信用金庫

地域密着型金融の基本的な考え方

経営理念「三者共栄」

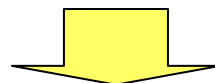
～信頼の輪を広げるコミュニティバンク～

お客様、金庫、職員、三者相互の発展と幸せを築いていく「三者共栄」の経営理念のもと、地域に密着した金融機関として、地元事業者や個人の皆様とのきずなを深め、持続的発展が可能な地域社会づくりをめざします。



中期経営計画「変革・挑戦・情熱 2012」(平成21年4月1日～24年3月31日)

スーパーSAFETY	『経営力強化』	強固な経営基盤・財務力・収益力
スーパーSTRONG	『人財育成』	強い業務力・事務管理能力・人財力
スーパーSYMPATHY	『顧客サービス拡充』	思いやり・気配り・サービス力



経営理念に基づく中期経営計画「変革・挑戦・情熱 2012」の着実な取り組みにより『地域密着型金融』を推進します。

＜地域密着型金融の3つの柱＞

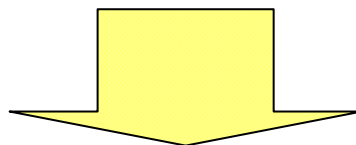
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域密着型金融推進のための5つのネットワーク

今回の地域密着型金融の柱である

1. 「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」
2. 「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」
3. 「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」

を推進するにあたり、当金庫の特徴である中小企業金融の強みを活かし、「中小企業の経営改善・再生支援」を柱とする下記の「5つのネットワーク」を強化・推進することにより、中小企業と地域社会の発展に取り組みます。



<5つのネットワーク>

- | | |
|------------------|------------------------------------------|
| 1. 「産学官のネットワーク」 | 創業・新事業支援、再生支援、ビジネスマッチング |
| 2. 「他業態とのネットワーク」 | 担保・保証に過度に依存しない融資等の推進、再生支援・事業承継、ビジネスマッチング |
| 3. 「顧客とのネットワーク」 | 経営相談・経営改善、再生支援、ビジネスマッチング |
| 4. 「地域とのネットワーク」 | 地域社会への貢献、利用者の利便性向上 |
| 5. 「金庫内ネットワーク」 | 人材育成、総合サービス力の向上 |

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

1. 創業・新事業支援への取り組み

- (1) 創業・新事業支援融資
創業・新事業支援機関(大阪産業創造館、大阪産業振興機構、大阪商工会議所等)との緊密な情報ネットワークにより支援融資を行いました。

○創業・新事業融資実績 79件 5億73百万円

- (2) 地域金融支援ネットワーク事業への参加
開業者や小規模企業を対象に、地域金融機関と大阪商工会議所が連携して支援する「地域支援ネットワーク型」あるいは「商工会議所連携型」をはじめ、大阪府が独自に金融機関に呼びかけ創設された「金融機関提案型融資」の普及を通じて、頑張る中小企業者を応援しています。
- (3) 産学連携による支援
お取引先と大阪市立大学や大阪工業大学などとの共同・委託研究のコーディネートを行い、技術相談や技術評価、特許・実用新案の戦略立案や申請手続きの指導など幅広い支援により、販路拡大に向けたビジネスマッチングにもつなげました。

<企業支援センター>

平成15年に「企業支援センター」を創設し、公的金融機関との協調融資や(社)中小企業診断協会との創業・起業、企業再生支援など外部機関との連携によりお取引先とともに経営・再生支援に取り組んでいます。

2. 金融円滑化、経営改善・再生、事業承継等 経営支援への取り組み

- (1) 金融円滑化に対応し、新規融資や返済条件変更等のご相談およびお申し込みに対する適切な対応、ならびに取引企業に対する経営改善計画策定等の支援を実施しました。
- (2) 地域の中小企業や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域金融の円滑化に取り組んでいます。また、営業店に「相談窓口」を設置し、休日相談も実施しています。
- (3) 事業承継問題の解決に向けて、当金庫の企業支援センター、産学連携センターが信金キャピタル(株)や(株)日本M&Aセンターと連携し、M&A支援に取り組んでいます。
- (4) 若手経営者や後継者等を対象とした実践経営塾「市信Jクラブ」の活動により、中小企業の人材育成支援に取り組みました。

<産学連携センター>

お取引先からの技術・商品開発面でのニーズにお応えするため、平成15年10月に「産学連携センター」を創設し、IT技術から医療・バイオまで幅広く対応できる大阪市立大学や、全国唯一の知的財産学部を有する大阪工業大学、さらには大阪経済大学と企業に関する共同調査・研究を開始するとともに、関西大学とも地域連携活動を行っています。

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

地域密着型金融による
産学官のネットワーク

お取引先企業

技術相談
共同研究等

技術相談依頼
研究依頼

経営相談依頼
創業・新事業
相談依頼

経営相談
創業・新事業相談等

大学

- 大阪市立大学
医学部・生活科学部
理学部・工学部 等
- 大阪工業大学
工学部
知的財産学部 等
- 大阪経済大学
中小企業・経営研究所
- 関西大学
社会学部 等

連携

健康・予防
医療分野等

ロボット・IT活用、
特許・商標権の
保護活用等

企業経営に関する
研究・調査等

地域との
連携活動

大阪市信用金庫

産学連携センター

企業支援センター

連携
情報交換

公的機関

- 近畿経済産業局
- 大阪産業創造館
- 大阪商工会議所
- 大阪産業振興機構

その他主な提携先

- ベンチャー投資
日本ベンチャーキャピタル(株)
- M&A支援
信金キャピタル(株)
(株)日本M&Aセンター
- 経営支援
(社)中小企業診断協会大阪支部
大和証券SMBC P.I.(株)
(独)中小企業基盤整備機構
- 提携金融機関
(株)日本政策金融公庫
大阪西支店(国民生活事業)
大阪支店(中小企業事業)
(株)商工組合中央金庫 大阪支店

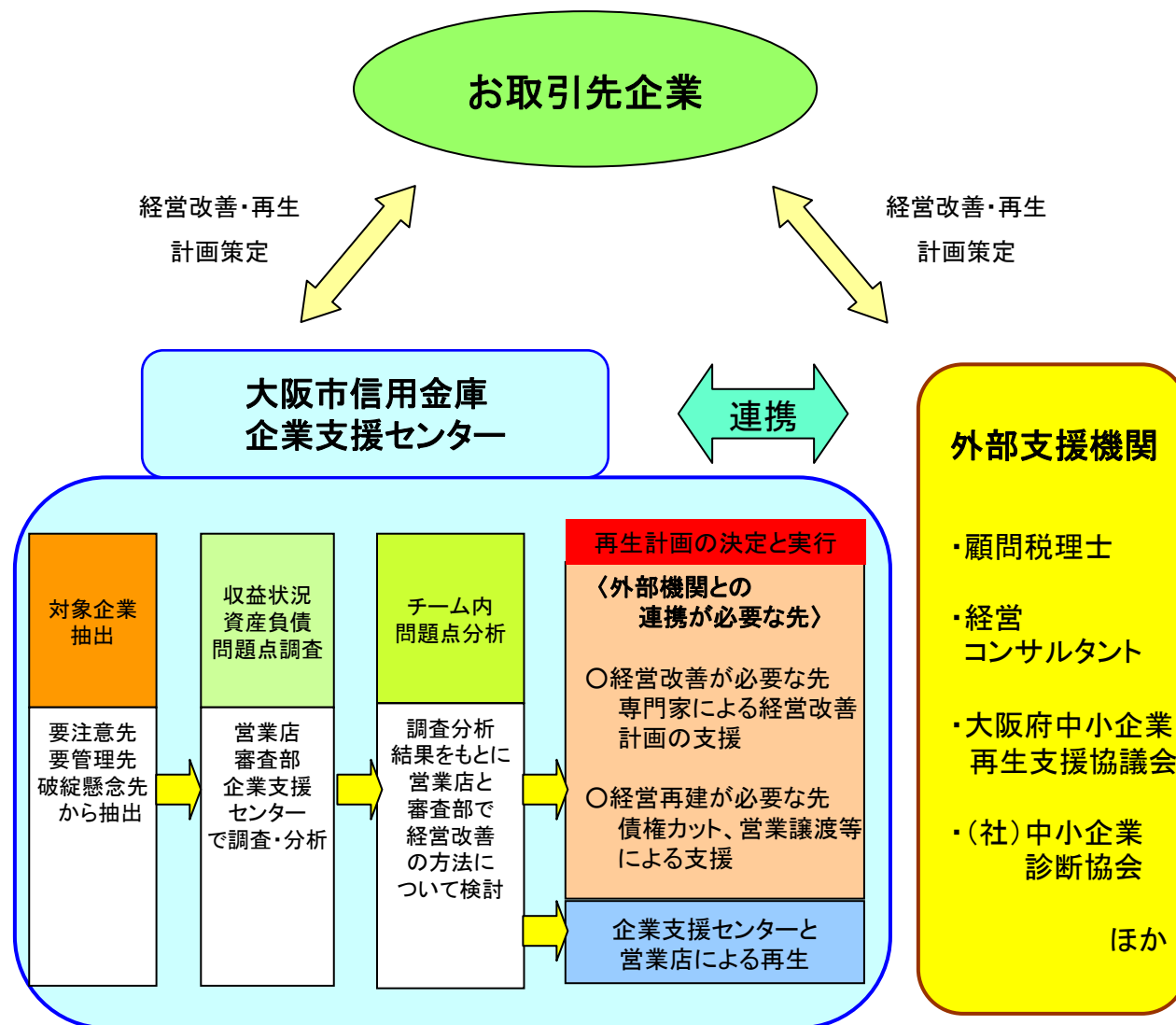
I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(5) 経営改善支援先136先(うち再生支援先130先)を選定し、事業再生計画の策定・実行を支援しました。お取引先・営業店・本部が連携して企業再生スキームに沿ってランクアップに取り組みました。

<平成23年度取り組み実績>

- 経営改善支援
取組先数 136先
- 経営改善支援
取組率 2.33%
- 再生計画策定先数 130先
- 再生計画策定率 95.59%
- ランクアップ先数 1先
- ランクアップ率 0.74%
- 期初債務者数
(正常先除く) 5,834 先

企業再生スキーム



Ⅱ. 事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給手法の徹底

1. 中小企業に適した資金供給の徹底

- (1) 緊急保証制度など保証協会無担保融資を活用した取り組みを引き続き実施しました。

○緊急保証融資実績
392件 71億円

- (2) ㈱日本政策金融公庫や㈱商工組合中央金庫などの外部機関と連携し、協調融資を引き続き実施しました。

○協調融資実績
14件 6億79百万円

- (3) 日本銀行の「成長基盤強化支援制度」を活用し、成長分野への進出計画や技術開発等を進めている企業などに対して、技術コーディネーター、中小企業診断士、財務専門家など当金庫、外部スタッフからなるプロジェクトチームが総合的に成長分野の企業支援を継続して実施しました。

○成長分野融資実績
7件 11億70百万円

2. 目利きのできる人材の育成

- (1) 金庫職員の専門的なスキル向上のため各種研修を実施しました。

- ・大阪市経済局・大阪産業創造館と連携した勉強会
- ・大阪市信用保証協会の「融資取扱能力向上講座」
- ・「不動産担保評価講座」
- ・「外為スペシャリスト養成講座」
- ・「得意先係養成講座」
- ・「融資渉外実践講座」ほか

- (2) 金融コンサルティング能力の向上をめざし、第2回「得意先係 顧客対応コンクール」を本店2階ホールで開催しました。当日は、得意先係を中心に職員450名がロールプレイングを見学しました。

得意先係 顧客対応コンクールを開催



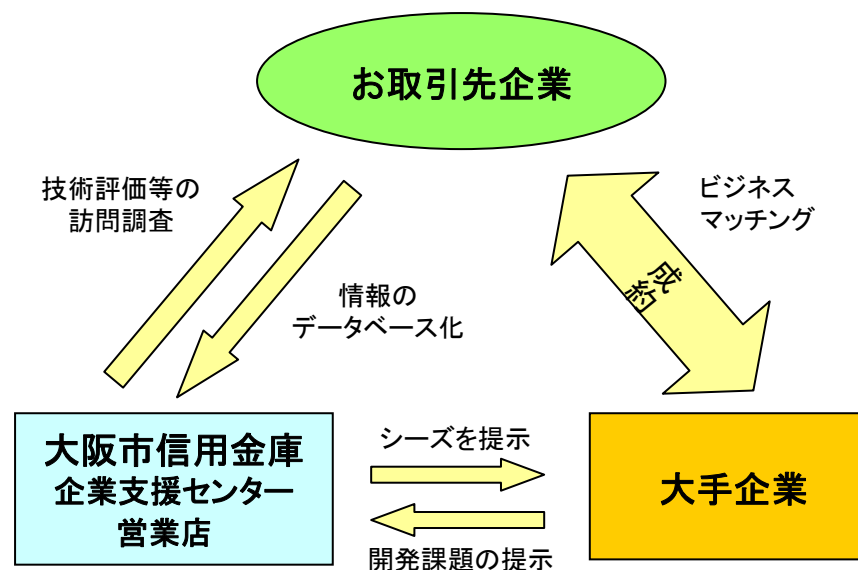
Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1. 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

(1) ビジネスマッチング関連

- 大阪府商工労働部・大阪商工会議所・大阪産業振興機構・大阪産業創造館等からのタイムリーな情報を取引企業に提供しました。
- 大手企業のニーズと取引企業の製品・技術を結びつけることにより、持続可能な発展に繋げるため、取引先の事業内容・技術・ノウハウ・特許等の情報をデータベース化(1,100先)し、大手企業とのビジネスマッチングに活用しました。
- 昭和リース株とのビジネスマッチング業務提携に、新たに「保有動産の処分」と「中古動産の購入」を追加しました。
- 大阪産業創造館の平成23年度事業である「金融機関×大阪市」で中小企業を弾力的にサポートする『中小企業応援団』に参画し、マッチングイベント等で中小企業の販路拡大を支援しました。
「大阪初・大阪発の信用金庫大商談会」府内10信金のイチオシ企業による初のコラボレーション商談会で、2社が成約となりました。
- 大阪商工会議所主催の第15回『買いませ！売れ筋商品発掘市』に中小企業と大手買い手企業とのビジネスチャンス拡大の場を提供するため、3年連続協力企業として参加しました。

大手企業とのビジネスマッチング



- 大阪商工会議所主催の「新しい融資制度を活用した賢い資金調達方法」融資説明会に講師として出席し、併せて相談ブースも設置しました。
- 東成・生野モノづくりフェスタ実行委員会主催の『モノづくりフェスタ in 東成・生野2011』に4年連続協賛企業として参加しました。
- 大阪府商工労働部との共催で、お取引先のマッチングを支援するプレゼンテーション式ビジネスマッチング「コラボレーションミーティング」を開催しました。

Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(2) 産学連携セミナー

- 日本政策金融公庫／国民生活事業との共催で、経営力UPセミナーを開催しました。同公庫が民間金融機関と共同開催するのは全国初の試みです。
- 大阪市立大学と連携し、「第6回産学連携セミナー」を開催しました(参加者50名)。
- 大阪工業大学と連携し、「第6回知的財産セミナー」を開催しました(参加者50名)。

(3) その他の取り組み

- 市信クラブ会員企業の社員教育を支援
 - *「接遇講座」(基礎、中堅リーダー) 参加者65名
 - *実践講座「売れる営業の実践術」 参加者87名

○外部研修生の受け入れ

- * 関西の大学からインターン研修生8名を受け入れました(14年連続)。
- * 地元の中学校から「職場体験学習」として生徒2名を受け入れました(長吉支店)。

○地域経済を展望した情報提供

- 当金庫「市信総合研究所」では、地元中小企業を対象に景気動向等の調査を実施し、その結果を取引先のほか、報道機関や行政機関などに広く還元しました。

○〈市信〉ネットワークサービス

- お客様の日常生活におけるご要望に迅速に対応できるよう、多分野の専門家と連携しています。

「モノづくりフェスタ」に参加



「産学連携セミナー」を開催



「市信クラブ接遇講座」を開催



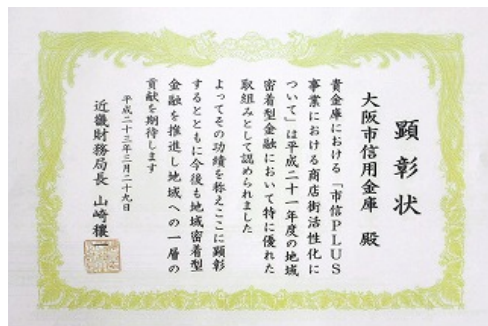
Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

市信PLUS事業

大阪市信用金庫は、取引先中小企業の事業支援を行うため、平成19年10月に「市信PLUS事業」を立ち上げました。

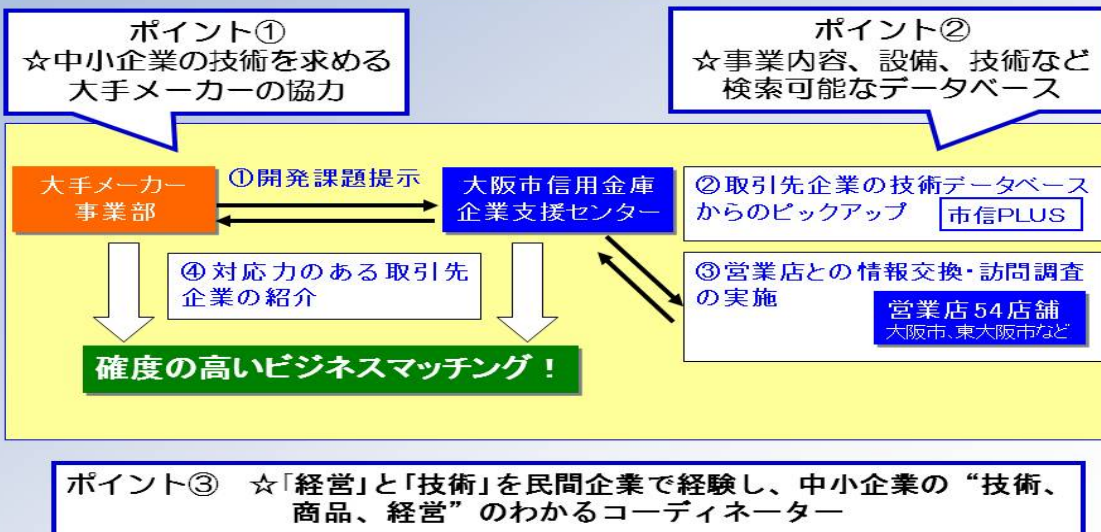
この取り組みは、①中小企業の販路拡大事業、②中小企業等の経営者育成事業、③地域商店街の活性化支援事業を3つを柱とし、当金庫が持つノウハウを駆使して取引先の事業を幅広い分野で支援するものです。地域の頑張る中小企業や優れた技術の発掘、さまざまな経営課題の解決など、多様な活動を通して地元企業の活性化を図っています。

当金庫が取り組む「市信PLUS事業」における商店街活性化支援事業が、優れた地域密着型金融に関する取り組みであるとして、近畿財務局から顕彰状を受けました(2年連続)。



『市信PLUS事業』における販路拡大の取組み

市信PLUS



① 中小企業の販路拡大事業

- 大阪市経済局、大阪産業創造館と連携して、大阪都市型産業振興センター実施事業およびサービスの説明会を開催しました。
- 中小企業基盤整備機構と近畿12金庫による、市信PLUS事業関連の『信金PLUS+事業』のキックオフミーティングに参加しました。
- 経営革新計画承認企業と大和ハウス工業(株)とのビジネスマッチング商談会を共催しました。
- 営業店滞在型支援の活動モデル構築のため、トライアル活動を大東北支店と門真支店で実施しました。

② 中小企業等の経営者育成事業

- 市信PLUSシリーズ「中小企業の技術経営講座」を継続実施しました。

Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

③ 地域商店街の活性化支援事業

○商店街のイベント(物産展等)に協力し、参加・支援しました(実施支援イベント件数:42件)。

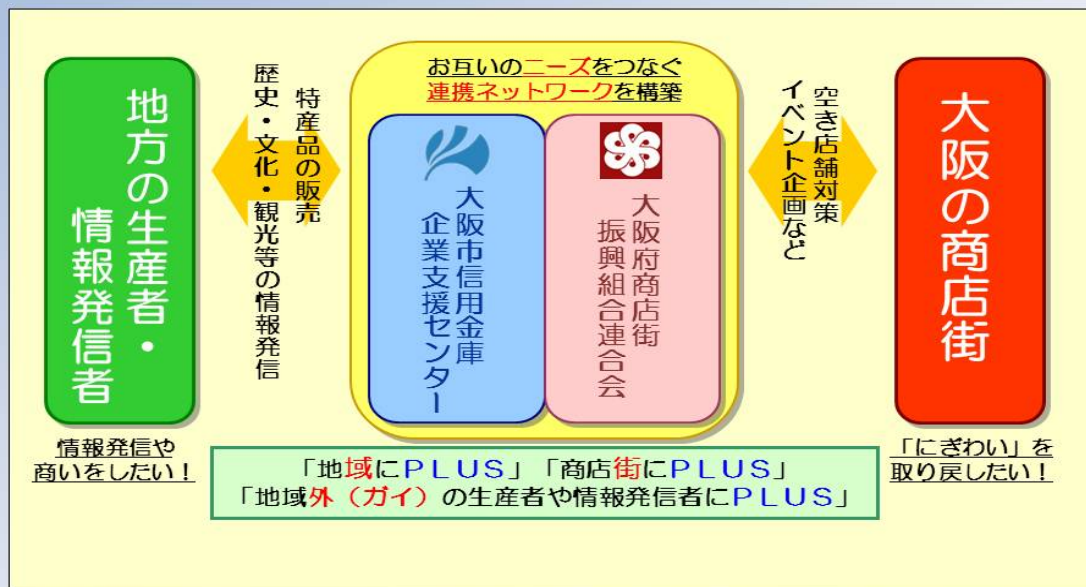
<主な支援イベント>

- * 天神橋筋商店街「東北チャリティ物産展」に協賛し、ブースを出店。
- * 大阪市商店街総連盟「あきない祭り」に協力。
- * 桃谷本通商店街・桃谷東通商店街「ももだに100円商店街」に協力し、ブースを出店。
- * 西成区商店会連盟主催「にぎわい祭り2011」に協賛。
- * 関目商店街「東北復興祈願 岩手花巻わんこそば大会」に参加・協力。
- * 平尾商店街「100円商店街」に協力。あわせて、渡島信金と連携し、南北海道の物産販売を実施。

○ その他事業

北海道財務局主催の「地域密着型金融に関するシンポジウム」に、河村理事長が出席し、当金庫の「市信PLUS事業における商店街活性化支援事業」について発表しました。

『市信域街(いきがい) PLUS事業』のスキーム 市信PLUS



「東北チャリティ物産展」に協賛



市信PLUS事業の取り組みを発表



Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

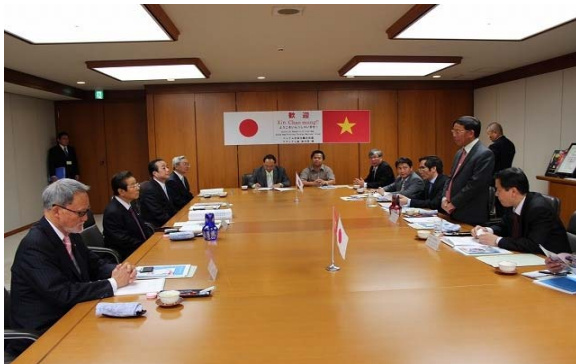
国際業務

当金庫は、大阪府下で唯一、直接海外の金融機関とのコルレスを持つ信用金庫で、全国の信金でもトップクラスのコルレス網(68か国、150行)を有しています。

地元中小企業の海外ビジネスを積極的に支援するため、相談窓口「アジアビジネス・サポートデスク」を本店国際部内に設置し、外国の法律や通関業務など、海外進出に関するさまざまな問題について、ご相談に応じています。

信金中央金庫をはじめ、ジェトロ大阪や大阪商工会議所等の公的機関のほか、国際法律事務所や通関業者など、幅広い分野の機関と連携し、お取引先の相談ニーズに応え、外部連携機関とのコーディネートを行っています。

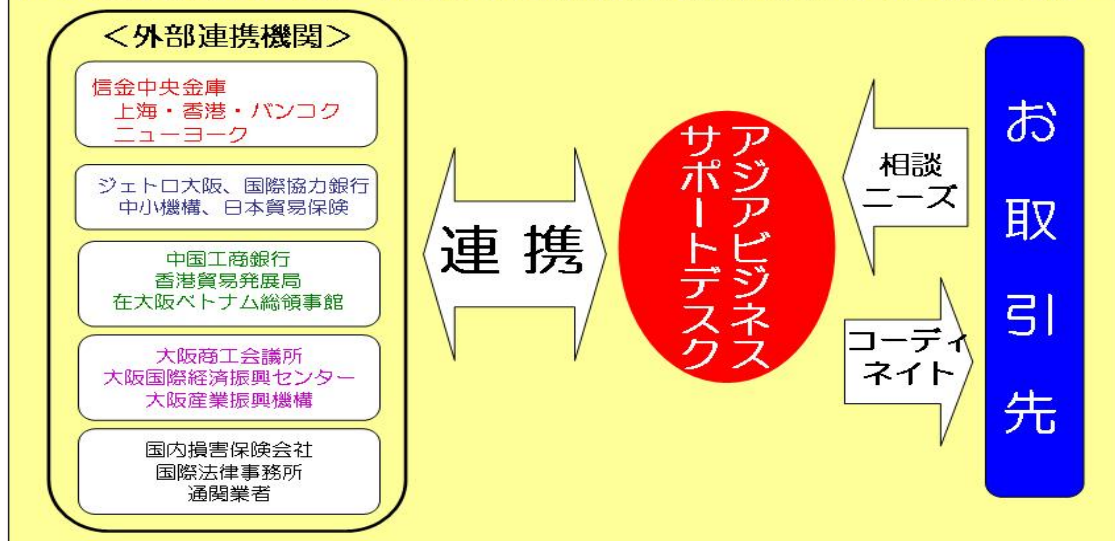
在大阪ベトナム総領事館と連携



アジアビジネスサポートデスク

(平成23年1月 国際部内に設置)

～アジアビジネス・サポートデスクが外部機関と連携し相談窓口のワンストップ化～



<海外ビジネス支援>

- 中国銀聯オンラインショッピングモールにかかるビジネスマッチング業務を開始しました。
- 海外販路開拓を支援するため、外部機関との連携を強化し、商談会やセミナー利用を勧奨しました。
- 信用金庫で初めて、「中国工商銀行」と業務提携しました(中国現地情報の提供や現地法人に対する口座開設支援等)。
- 東京センチュリーリース(株)との海外リース紹介業務を開始しました。
- 中国企業と貿易する中小企業が人民元建てで取引できるサービス「人民元建て貿易決済業務」を行っています。

Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

2. 地域社会の発展に向けた継続的な社会貢献活動

当金庫は、CSR活動の一環として、地域社会の発展に向けて継続して社会貢献活動や地域のイベントに積極的に協賛・参加しています。

(1) 地元イベントへの協賛

「天神祭」、「大阪城 城灯りの景」、「御堂筋オープンフェスタ」、「平成OSAKA 天の川伝説」、「御堂筋kappo」、「大阪あきない祭り」、「大阪メチャハッピー祭」、「大阪マラソンEXPO」、「OSAKA光のルネサンス」などに協賛。

(2) スポーツ振興(協賛・協力)

「大阪府春季少年軟式野球大会」、「日本ジュニア室内陸上競技大阪大会」、「OSAKA緑のウォーキングリレー」、「水都大阪100kmウルトラマラニック」、「大阪国際トライアスロン大会」、「オリンピックデーラン大阪大会」、「世界スーパージュニアテニス選手権大会」、「大阪マラソン」などに協賛・参加。
また、セレッソ大阪との共催で「サッカースクール」を開催。

(3) ボランティア活動、寄付等

- 大阪ユニセフ協会主催の「こどもの日チャリティイベント」や「ユニセフ・チャリティバザー」に協力。
- 全店による地域清掃活動や本部における献血活動を継続して実施。
- 大阪市が提唱する「クリーンおおさか」の活動に協力したほか、各店店周の清掃活動を毎月実施。また、6月15日の「信用金庫の日」には、府下信金統一活動として、全店一斉清掃を実施し、献血PR活動に協力。
- 歳末恒例の「大阪市信愛の募金基金」街頭募金を実施し、その浄財を大阪市などの福祉団体に寄託。
- 地元病院や医師の協力を得て、「市信健康セミナー」を八尾支店で毎月開催。
- 使用済みプリペイドカードを全店で回収し、大阪ボランティアセンターに寄贈。
- 大阪マラソンチャリティ募金箱を全店の店頭を設置し、募金を募る。

大阪府春季少年軟式野球大会に協賛



第1回大阪マラソンに協賛



Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(4) 環境への取り組み

- リサイクル可能な素材を利用したエコ&カラフル通帳「夢えほん通帳」を引き続き採用。
- 環境支援融資やエコカーローン・エコリフォームローンを継続して取り扱い、環境改善に取り組む個人や企業を応援。
- エコファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン(ぶなの森)」を取り扱い。
- 環境にやさしい粗品(エコタオルなど)を引き続き採用。
- 大阪市が提唱する循環型社会の構築に呼応して、引き続き、廃棄書類の溶解処理と、再生紙の利用を促進。
- 電気・ガス・水道・燃料・コピー用紙等の使用量削減に取り組む。
 - ・夏季「クールビズ」、冬季「ウォームビズ」の実施で室温調整
 - ・照明の間引きや不必要な照明の消灯を励行
 - ・照明や空調設備の見直し
 - ・データ保存を紙ベースから電子ベースへ順次移行
- 消費電力が従来比50%以上削減可能な省エネタイプのATMを全店に導入。
- 低炭素都市をめざす堺市をバックアップするため、「SAKAI エコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部」に参画。
- 温暖化ガス削減運動「チャレンジ25キャンペーン」に参画。



(5) その他の取り組み

- AED(自動体外式除細動器)を8カ店(本店営業部・生野・阿倍野・布施西・城東・住吉・住道・姫島)のATMコーナーに設置。
- 大阪市と民間6企業が協働で取り組み、がん検診の受診率の向上を目指す「知ろう! 受けよう! がん検診プロジェクト」に参画。
- 認知症の方やそのご家族を支援するため「認知症サポーター」を全店に配置。

「信用金庫の日」全店一層清掃を実施



歳末恒例の街頭募金活動を実施



Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

3. 顧客満足度を高める商品・サービス等の提供

(1) 新商品等の取り扱い

○預金商品等の取り扱い

- ・夢ふくらむ支店「プラス金利キャンペーン」(23年4月～5月)
- ・「東日本大震災復興応援定期預金」(23年4月～6月)
- ・定期積金「わんだフルV」(23年6月～7月)
- ・夢ふくらむ支店「ご愛顧感謝キャンペーン」(23年6月～7月)
- ・「大阪マラソン2011記念定期預金」(23年6月～9月)
- ・「開運！迎春定期預金VI」(23年10月～11月)
- ・市信プレミアム定期預金「春・燦・燦」(23年12月～24年3月)
- ・市信プレミアム定期積金「わんだフルVI」(23年12月から)

○その他商品等の取り扱い

- ・特別優遇金利「事業融資・住宅ローン」(23年4月～6月)
- ・共栄火災「標準傷害保険」のキッズプラン(23年11月から)
- ・市信公務員カード「アトワンスS」(24年2月から)

(2) 金融サービス等のご提供

- ・「市信くらしの相談(休日相談)」を毎月第3日曜日に、本店と城東ローンセンターで実施しました。
- ・個人出資会員向け「〈市信〉夢ふくらむポイントサービス」を継続実施しました。
- ・円高相談窓口(ホットライン)を審査部内に設置し、ご相談に対応しました。
- ・インターネットバンキングサービス利用者の障害時専用サイトを新設しました。
- ・江戸堀支店をリニューアルし、店舗機能を充実しました。

(3) ご高齢や障がいのある方に配慮した取り組み

- ・視覚障がいのある方を対象とした点字による「テレホンバンキングサービスご利用の手引き」を作成し、全店に設置しました。
- ・視覚障がい者向け「点字取引明細」と「点字満期案内」の発行サービスを開始しました。
- ・全店のATMを、人と環境に優しい機能を備えた最新鋭機に全面更新しました。
(コントラストを強調した見やすい操作画面、足元スペースの拡大、省エネ設計など)

人と環境に優しい 省エネタイプのATMを導入



